

第 1 問 答案用紙<1>
(会 計 学)

問題 1

問 1

1 時間あたり 円

問 2

②	232,000	③	43,000	④	275,000
⑤	82,000	⑥	290,000	⑦	208,000

問 3

(1)

保全サービス部の稼働時間は第 1 製造部および第 2 製造部の稼働時間に依存し、保全サービス部において操業度差異は管理不能と考えられるからである。

(2)

保全サービス部：	0 時間
第 1 製造部：	0 時間
第 2 製造部：	100 時間

問 4

(1)

変動費の配賦基準：当月の保全サービス利用実績
固定費の配賦基準：月間保全サービス利用実績の平均(保全サービス供給能力)

(2)

欠陥 1：配賦額が管理不能な他部門の用役消費量の多寡によって左右される。
欠陥 2：配賦額の中に管理不能な補助部門における原価管理活動の良否の影響が混入する。

問 5

(1)

第 1 製造部への配賦額の増減：	112,000 円
第 2 製造部への配賦額の増減：	30,000 円

(2)

複数基準配賦法とは、補助部門費を変動費と固定費とに区別し、それぞれの発生原因に応じて配賦基準を選択する方法をいう。この点、補助部門の固定費は、当該補助部門のサービス供給能力を維持するために発生するため、これに基づいて配賦するのである。

第 1 問 答 案 用 紙 < 2 >

(会 計 学)

問題 2

問 1

完成品原価	3,002,750 円	月末仕掛品原価	316,000 円
異常仕損費	52,650 円	売上総利益	1,975,000 円

問 2

③	3,002,246	④	106,343	⑤	52,681
---	-----------	---	---------	---	--------

(別解) 3,002,247

(別解) 52,680

問 3

処理： エ

根拠：異常仕損費は非原価項目として処理するが、当月の異常仕損品の発生原因は偶発的なものではなく、機械の整備不良という製造課長にとって管理可能な原因に基づくためである。

問 4

(1) 総合原価 (2) 作業くず, 仕損品

問 5

⑨ ク ⑩ エ ⑪ セ ⑫ ウ

第2問 答案用紙<1> (会 計 学)

問題 1

問 1

設問 1

名称	トップダウン 型予算
----	------------

設問 2

トップ・マネジメントの意向を反映した予算を編成し、その執行を強制するため、新製品を投入する場合など、重要な経営改革を要する局面において全社的な方向付けに資する。

問 2

ア	イ	ウ	エ
5	1	1.2	8,250
オ	カ	キ	ク
78,909,072	1,260,000	144,000	540,800

問 3

設問 1

名称	例外管理
----	------

設問 2

ケ	コ	サ
2,996,052	156,000	129,861,950

設問 3

単位レベルと工場支援レベルの活動を除く段取、搬送、注文処理、検査の4つの活動のうち、段取活動の原価が最も小さく、残りの搬送、注文処理、検査活動の原価はほぼ同額である

問 4

製品Aの市場総需要量が前年度比4%の減少にとどまっているのに対し、元々の経営改革の趣旨に反して、有望と期待された製品Bの市場総需要量は前年度比16%の減少となっているため、製品Bに替わる新製品の投入も視野に入れるべきである

第2問 答案用紙<2> (会計学)

問題 2

問 1

ア	12	イ	15.5
---	----	---	------

問 2

ウ	X	エ	20.86	オ	550,000	カ	90,000
---	---	---	-------	---	---------	---	--------

問 3

設問 1

キ	3,564	ク	9,300	ケ	10,254
---	-------	---	-------	---	--------

設問 2

この投資案の正味現在価値は5,373千円(千円未満四捨五入)であり、実行すべき有利な投資案であるが、資本コストの負担が大きい20X1年度の残余利益は-5,346千円となるため、単年度ベースで業績評価を行なえば、事業部長が短期的な業績の低下を嫌って投資案を見送る恐れがある。

設問 3

投資案の各年度の残余利益の計算においては、初期投資額を減価償却費及び資本コストとして各年度のキャッシュ・フローに負担させるため、その現在価値総額は正味現在価値(5,373千円)に一致する。そのため、事業部長の業績評価に複数期間(投資期間)ベースの残余利益を用いることで、正味現在価値がプラス(マイナス)となる投資案の実行(棄却)を促し、事業部長の投資判断について全体最適との整合性を確保するという利点がある。